

新発田市 令和7年度 第3回定例記者会見

1 日 時 令和7年5月27日(火)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた502会議室

3 内 容

【市長発表項目】

○新発田市・キルギス共和国連携協議会の設立について

○新発田産オーガニック米を使用したクラフトビールの販売開始について

○市街地循環バス(あやめバス)の運行エリアを拡大します！

○しばたあやめまつり及びあやめサミットの開催について

○城下町新発田まつり

【その他】

○商店街クリーン作戦を開催します

○手工芸・水墨画、いきいき作品展

○市民コンサート2025

○真珠まりこ氏による講演会「もったいないと絵本の話」とギャラリートークの開催

○新発田あやめ寄席「春風亭昇太、林家つる子 落語会」

あいさつ

○先日、記者クラブの皆様と懇親会を開催させていただき、その時にも試飲していただきましたが、この度、新しいビールができました。フルーティーな味わいで、お米でできたというよりも、果物でできているのではないかと思えるほどの爽やかさを感じるビールでありました。

○まもなく 6 月議会が始まります。議会も少し変化があったようで、議員の皆さまの会派の移動があり 7 会派となりました。しっかりと議員の皆さまと、少しでも新発田市が前に進むように議論を交わしていきたいと思っております。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、新発田市・キルギス共和国連携協議会の設立についてです。

○キルギス共和国からの人材受け入れに向けて、昨年7月に、市議会議長や市内産業界の皆さんと一緒に、総勢13名でキルギスを訪問し、外務省や労働省、国立大学などと協議を行ってきました。

○その後、市内企業の皆さんと受け入れに向けた検討を進め、多くの企業様から、キルギス人材を受け入れたいとの回答をいただいたことから、この度「新発田市・キルギス共和国連携協議会」を設立することとなりました。

○協議会は、在日キルギス大使などのキルギス政府機関や大学関係者、キルギス人材の受け入れを希望する市内企業などをメンバーとしており、産学官が連携し、キルギス共和国の人材受け入れに向けた情報共有を図り、キルギスの若者を第2の故郷である新発田で大切に育ててまいります。

○キルギス共和国と新発田市との交流は、当市出身の宮野泰^{みやのやすし}さんが第二次大戦直後に、ソ連軍の捕虜として収容されたことに端を発しますが、郷土の先輩である宮野さんがつないでくださったご縁を大切にしながら、これからもこの交流を、官民をあげてしっかりと築いていきたいと考えております。

次に、新発田産オーガニック米を使用したクラフトビールの販売開始についてです。

○農業を持続可能な産業とするため、付加価値の高い有機農法を採り入れた「オーガニック SHIBATA プロジェクト」に、これまで取り組んでまいりました。

○この度、オーガニック米コシヒカリを原材料としたクラフトビール「月の雫 コールド・アイ・ピー・エル」が販売開始となります。

○去年は、新発田のお米を使ったビールがはるか遠いハワイで製造されていると御紹介しました。この取組に触発され、本家新発田も負けていられないと、有機農法に取り組む菅谷地区のアグリシステムさんと月岡ブルワリーさんとが連携し、オーガニック米を使用したライスビールが生まれました。

○オーガニック米については、オーガニック需要が高い海外へ輸出することで生産者の所得向上を目指しておりますが、その生産過程で発生する「規格外」の有機米を有効活用することで、さらなる所得向上につながると期待しております。新たな特産品として観光客の皆様はもとより、市民の皆様にもお楽しみいただきたいと思います。

○先日、私も試飲いたしましたが、オーガニック米の効果でしょうか、キレがあり、すっきりした味わいでした。本日は記者の皆様にも準備いたしましたのでご試飲ください。

○また、本日は醸造責任者の新保さんにもお越しいただいておりますので、ご本人から商品の紹介や思いなどをお話しいただきたいと思います。

新保典司氏によるスピーチ

次に、市街地循環バスの運行エリア拡大についてです。

○平成18年に運行開始した市街地循環バスは、市街地での買い物・通院・通学等の移動手段として、年間約8万人の方に御利用いただいておりますが、商業施設や宅地の開発が進み、「まち」が変化する中、運行できていない地区があることが課題でした。

○このため、6月6日から現在運行中の路線に加え、新たな循環路線の運行を開始します。運行ルートは、私の選挙公約でもありました、新発田駅東エリアの豊町や東新町をはじめ五十公野公園を含む東ルート、西新発田駅西エリアの富塚町などを含む西ルートと、市街地を幅広く運行いたします。この整備により、先週の5月20日から運行を開始した「ささき号」の整備と相まって、当市の地理的な公共交通空白に対する取組については、一区切りつくと考えております。

○車両は、現在運行中の「おやゆびひめ号」、「いっすんぼうし号」と同様に、落谷虹児作品の「かぐやひめ」と「そんごくう」をラッピングしたバス2台で運行します。落谷虹児作品の4きょうだいがまちを走りますので、ご注目ください。

○6月6日の出発式では、新路線で運行エリアとなる新発田駅東エリアの幼稚園児にダンスを披露していただくなど、未来の新発田を担う子どもたちと新路線の運行開始を盛大に祝いたいと考えております。

○今後も引き続き、地域の皆様が安心して移動できるよう、公共交通の充実に取り組んでまいります。

次に、しばたあやめまつり及びあやめサミットの開催についてです。

○今年は大型イベントが目白押しですが、この千載一遇のチャンスを観光のホップステップジャンプに例え、まずは、ホップとして、「ももクロ春の一大事」が首尾よく新年度のスタートダッシュを切りました。これに続くステップは、「しばたあやめまつり」と、11年ぶりとなる「全国あやめサミット」です。

○初夏の花、そして、市の花「あやめ」ではありますが、日本四大あやめ園に数えられる「五十公野公園あやめ園」には、約 300 品種 60 万本のあやめが咲き誇ります。

○今年のあやめまつりは、6 月 18 日（水）から 29 日（日）までの 12 日間です。期間中は、ぼんぼりを置きライトアップも実施します。また、土日は、屋台やキッチンカーも登場いたします。さらに、よさこい演舞や友好都市である石川県加賀市の物産販売など、様々な催しが行われる予定です。

○そして、あやめによる個性豊かなまちづくりを行う市町村が一堂に会する「全国市町村あやめサミット」が開催されます。6 月 22 日（日）、23 日（月）の両日、首長会議や、あやめ園視察のほか、月岡温泉や市街地の観光名勝を巡るなど盛りだくさんの内容となっています。また、22 日（日）は、開催記念として、新発田市観光大使を務める三笑亭夢丸さんによる特別寄席も開かれますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

最後に、城下町新発田まつりについてです。

- 観光のホップステップジャンプの最後となるのが「城下町新発田まつり」です。この新発田市最大のイベントによって、大きくジャンプして、飛躍を図りたいと考えております。
- 近年、新発田まつりでは、合言葉を掲げ、市民の皆様はじめ、まつりに御参加いただく皆さんと目標を共有することで連帯感を深めてきましたが、今年は、「ももクロ春の一大事」にあやかり、「しばた夏の一大事」とし、「一大事」となるほど盛り上がればよいとの願いを込めて開催いたします。
- はじめに市街地花火についてです。去年は、急な豪雨に見舞われ、当日中止といたしましたが、今年は、十分に対策を講じてまいります。また、長年、打ち上げ場所の提供をいただいた自衛隊さんが、官舎の工事の関係から、今後の協力が難しいとのことで、最後の市街地花火として一つの区切りをつけることとなりますので、フィナーレにふさわしい演出を考えております。
- 続いて、民踊流しについてです。近年、参加団体が減少しておりますが、会社単位で御参加いただければ、企業PRとなることは間違いありません。また、まつりの原点でもある、参加することで楽しんでもらいたいという思いもありますので、企業に限らず、お仲間同士お誘いいただき、浴衣でもユニフォームでも構いませんので、楽しく踊ってほしいと思っております。
- 最後は、新発田まつりの華である新発田台輪です。これまで4度にわたって県内で唯一「天皇陛下御即位の国民祭典」に招待を受けるなど、当市の大いなる誉れであり、世界に対する誇りではありますが、来年、台輪運行300周年の大きな節目を迎えます。

○8月29日の「帰り台輪」では、威勢のいい男衆が引き回す台輪と6町内による勇壮な一斉あおりが、いつにも増して熱を帯びることでしょう。日本の伝統文化を存分に感じさせ、見る者を魅了してやまない当市のキラコンテンツとして、しっかりと観光誘客につなげ、ホップステップジャンプを締めくくりたいと考えております。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりにイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。